※令和４年度以降入学生用

学校番号	321

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	古典探究	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校　古典探究　（数研出版）						
副教材等	古典の手引き　（いいずな書店） みるみる実力アップ古文２　（第一学習社） 常用国語便覧　（浜島書店） 古文単語３３０　（いいずな書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・古典に関する国語の力を身に付けることを心がけましょう。
・話し合いや文章記述、発表など、アクティブな活動を取り入れた授業を行います。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・有名な古文と漢文の作品、近現代の作品の音読や、本文を書き写すことによって親しみ、正しく心情等を理解するために語彙力や文法の知識をしっかりと身に付けてください。
・予習として必ず本文を読み、意味の分からない語句は辞書で調べておきましょう。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２　学習の到達目標

・教材の選択に際しては、生徒の興味が湧き出るような教材を選び、語彙を増やし、正確な漢字の読みと書き取りの力をつけていく。日本文化の基礎を作っている考え方や感じ方にふれていく。
・以上のように、文章の精読によって、豊かな言語感覚と多様な価値観を養い、お互いの意見や感想を交換し批評する力（伝え合う力）を身につけ、他者との円滑なコミュニケーションを図ることのできる力を養っていくことを到達目標とする。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」,「書くこと」,「読むこと」の各領域において，生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり，思いや考えを深めたりしながら，言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに，言語感覚を磨き，言葉を効果的に使おうとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

	単元学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
学期	説話 ［教材］ 大江山 兼盛と忠見	a:古文の世界に親しんでいる。 b[　読]:作品の背景も読み取ることができる c:冒頭部分の暗唱に積極的に取り組んでいる。	定期考査	定期考査	暗唱テスト
	歌物語 ［教材］ 初冠 をばすて山	a:和歌を理解して親しんでいる。 b[　書]:主人公の心情を読み取る。 c:主人公のモデルについて知ろうとする。	定期考査	グループワーク	ワークシート
	文章 ［教材］ 漁夫辞 売油翁	a:漢文について理解している b[　読]:作品の特徴をつかめている。 c:ほかの作品と比較しようとしている。	定期考査	ワークシート	ワークシート
	物語 ［教材］ 車争ひ 須磨	a:文語のきまりを理解している b[　読]:他の作品との関連を知る c:言葉の価値を理解している	定期考査	ワークシート	ワークシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※

年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　０　）時間

・書くこと　…　（　０　）時間

・読むこと　…　（　１４０　）時間